



楽しく学ぶサイエンスショー・オリジナルキャンドル・プラバンアクセサリー作り

日大工学部ジェネラルスポーツ同好会の学生が講師です。オリジナルキャンドルを2個作り、1個は保育所へのクリスマスプレゼントで、ささやかながら地域との触れ合いも感じました。紙コップにきれいな色のモザイク状に切ったロウを入れ、そこに透明なロウと香りを加えて冷やし固めるとキャンドルの出来上がりです。



作業の合間には、大学生がキャンドルの燃える仕組みや虹色の話、また、今大学で学んでいることを真剣に話してくれるその姿に、大学生の方々の将来がますます明るいことを祈るばかりです。

保育所へのプレゼント用には、お菓子とメッセージカードも添えてラッピングをしました。みんな、出来上がりに満面の笑顔でした。

地域の人たちとのつながりも含めて、いつも楽しい企画を考えてくださり、ありがとうございます。
川口 洋子 さん



みつけたらよんでみよう おすすめの絵本

筆：たかみや みちこ

かぜのでんわ

作・絵：いもと ようこ

岩手県大槌町の佐々木 格(いたる)さんという方(ガーデンデザイナー)が、自宅の庭に「風の電話ボックス」をおきました。実際の電話線はつながっていません。ひとりきりになって「会えなくなった人へ伝えたい…」その思いを伝える空間としておいたそうです。



震災後、心の復興のきっかけになればと思い、実現させたそうです。



この絵本は、この「風の電話」をもとに作られたものです。震災のことを思う方はもちろんですが、震災を知らない小さなお子さんであっても、このお話から感じる悲しみや優しさ、希望などがあるのかなと思います。

3月の紹介とのでことで選んでみました。みつけたらよんでみてください。

男のわいわい塾 ～味噌づくり～



“大野さんちの手前味噌づくり”に参加しました。普段、料理はまったくしないのですが、以前この味噌づくりに参加して、知り合いに少しずつおすそ分けしたら、大好評でした。「それどこで売っているの？」と聞かれるほどでした。それから味噌づくりは、自称、私の特技となり、自慢しまくっています。今回は、17名のメンバーが集まり、わいわいと楽しみながらつくりました。米麴をほぐして荒塩を入れてよく混ぜ、煮豆を大豆のカタチがなくなるまでつぶしたものと煮汁を入れて、さらに練り上げると出来上がり。約3カ月程度熟成させて食べられるようになります。今回もまた、最高の味噌が味わえると楽しみです。

宗形 年行 さん



地域未来塾 ～はじめてのプログラミング教室～

桑野公民館で募集していたプログラミング教室に参加しました。まず、プログラミングについてのクイズをしました。クイズはとてもおもしろくて、初めて知ったこともたくさんありました。たとえば、「ロボットは、世界で一番多いところはどこでしょう？」など、いろいろありました。次に、実際にプログラミングをやりました。私は、『スクラッチ』しかやったことがなかったので「大丈夫かな」と思いました。少し緊張もしました。でも、どんどんクリアできたので緊張もなくなりました。最後にアンケートです。アンケートの一番最後、『ズバリ…今日の満足度は』のところは、100%と書きました。なぜかという、いろいろ楽しかったし、『これからもプログラミングを続けていきたい』と思ったからです。学校のプログラミングの授業で生かしていきたいです。

西村さん



「つなぐ・つながる」で作成したキャンドルやお菓子を、桑野保育所園児に届けました。みんな大喜びで、食い入るように中を覗き込んでいました。



市明るいまちづくり川柳コンクール「一般の部」応募総数 592 点の中から、桑野地区の以下の2点が“優良賞”に輝きました！おめでとうございます。

- ほっこりと 心ふれあい 通い合い 渡部 義勝さん
- 「気をつけて」 母の魔法の頭ポン 八代 友子さん